

地域の防災機能の拠点として

■防災体制の強化

地域住民の自主的な防災活動を支援するため、「防災研修」や「講習会」のほか、避難経路を図上で確認するDIG（災害図上訓練）なども実施しています。地域の安心を支える河川の危機管理拠点としての機能を備えています。



■防災機能の整備

災害時の防災活動で使用する緊急用資材を備蓄しています。また、洪水が発生した際に地域の防災拠点の役割を果たします。



●災害時に役立つ情報サイト

国土交通省ハザードマップポータルサイト
<http://disaportal.gsi.go.jp/>



国土交通省リアルタイム川の防災情報
<http://www.river.go.jp/>
<http://i.river.go.jp/> (スマホ版)



気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp/>



●洪水予警報 (出される予報とその時とるべき行動)

はん濫注意情報 [洪水注意報]	危険レベル
(はん濫注意水位を超えた場合) 避難行動の確認が必要な警戒レベル2に相当します。ハザードマップ等により、避難先、避難経路を確認してください。	2
はん濫警戒情報 [洪水警戒報]	3
(避難判断水位を超えた場合) 高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発表に留意するとともに、高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	4
はん濫危険情報 [洪水警戒報]	5
(はん濫危険水位を超えた場合) 避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。自治体からの避難勧告の発表に留意するとともに、避難勧告が発表されていなくても自ら避難の判断をしてください。	5
はん濫発生情報 [洪水警戒報]	
(はん濫が発生した場合) 災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。災害がすでに発生している状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。	

●災害時の連絡や安否確認に

災害伝言ダイヤル

171

※大規模災害が発生した場合は携帯電話からも安否確認ができる「災害用伝言板サービス」も提供されています。

●平常時には防災教育、河川環境などを楽しみながら学習できる施設として活用されています。



平常時は、地域住民等も参加した治水、環境、防災に係わる学習活動等が行われています。小学校および中学校の総合学習の時間や、地域住民への説明会など、多くの皆様が利用できます。また、併設する池の前排水機場では、一年を通じて排水機場の見学を受け付けています。事前に当施設または滝川河川事務所までお申込みください。



滝川地区地域防災施設 (川の科学館)

滝川地区地域防災施設のご利用、お問合せ、池の前排水機場見学のお申込みはこちらまで



- 住所 北海道滝川市西滝川1
- 電話 0125-24-0989(施設) または 0125-76-2211(滝川河川事務所)
- 開館期間 4月29日から11月3日まで
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)
- 開館時間 10:00~17:00
- 入館料 無料



地域の安心を支える防災拠点

滝川地区地域防災施設 (川の科学館)



国土交通省 北海道開発局
札幌開発建設部 滝川河川事務所

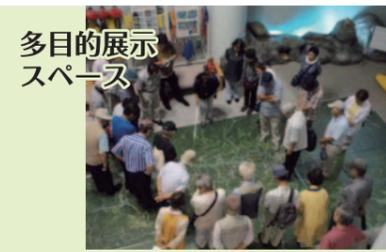
水の不思議、川の魅力を 探してみよう。

地域の安心を支えるとともに、身近な川を学習する。

滝川地区地域防災施設は、災害時には地域の防災拠点として、水防資材などを備えています。
平常時は石狩川の治水に関する各種情報や防災活動、防災教育、河川環境教育などを楽しみながら学習できる施設として活用されています。



北海道の一級河川/
北海道にある一級河川(13水系)
を紹介しています。



多目的展示
スペース

小学校の総合学習や防災研修会等、職員が団体説明をする他、パネル展等に利用しています。航空写真に乗り、地形と水害・土砂災害について、勉強することができます。災害時には、地域を水害から守るための危機管理拠点として利用されます。



川の生き物
コーナー

川は、人間だけではなく、たくさんの動物や植物にとっても「母」なる存在。石狩川流域に見られる魚やカエルなどの生き物を展示しています。



防災
コーナー

浸水想定区域図や避難時の心得など、水害から自分の身を守るための基本情報を展示しています。



水害写真コーナー

滝川市周辺と石狩川流域における過去の水害の写真を展示しています。



北海道国群全図、パネル展示

地球誕生の歴史や「北海道」の名付け親として知られる探検家「松浦武四郎」が描いた地図、世界の水利利用など、水に関するさまざまな情報をパネルで紹介しています。

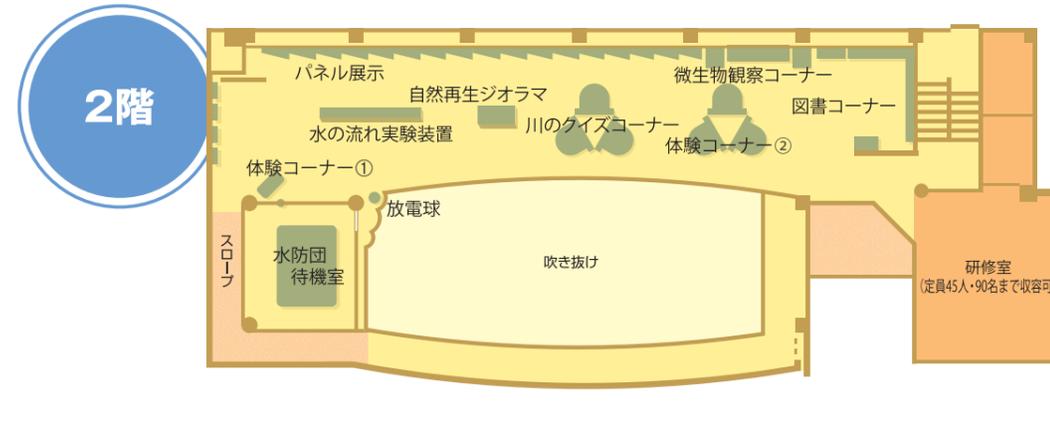


映像体験コーナー

大型スクリーンが設置された映像体験コーナーでは、洪水が起きるメカニズムや中空知の四季、砂川遊水地の風景などを公開しています。



入口前には石狩川が1/1,000のスケールで再現されています。



川のクイズ
コーナー

魚たちの世界、川のフシギ発見ライト、石狩川を空から探検、川や水の知識が学べるクイズアドベンチャーゲーム等が体験できます。クイズは、全問正解するとアクアマスターの認定書がもらえます。



パネル展示

水の不思議・川の本不思議・豊かな水環境という3つのテーマのパネルを展示しています。さまざまな水の魅力や川の役割、地球の環境問題などについて学ぶことができます。



水の流れ
実験装置

水の流れには侵食、運搬、堆積という3つの働きがあり、それらを観察できるのがこの装置です。川の流れによって川底がどのように変化するかを見ることができます。



自然再生
ジオラマ

川は昔、今よりもとも曲がりくねって流れていました。このジオラマでは、今の川を昔の川に戻して、自然を再生させる様子を再現しています。



水防団
待機室

水害時などに水防活動関係者が集まり、休憩したり、情報を収集する場所として使えるスペースです。普段は研修室として講演や学習コーナー等としても使えます。



放電球

ガラスの中で中央の電極から電気が放電されています。ガラスの表面にそっと手を近づけてみると、あら不思議、赤っぽい光が手の方に集まってきます。手の動きを追って光の筋が動きます。中央にある電極からの電圧により、気体が電離して発光し、電気の通り道が見えます。

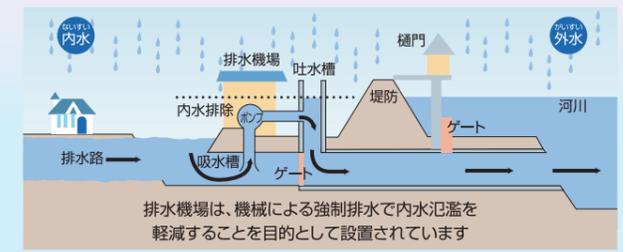
防災トピックス



支川や内水による氾濫から地域を守るため、 強制的な内水排除により氾濫を軽減する「排水機場」

排水機場は、堤内地の雨水(内水)を堤外の河川へ強制的に排除するために配置されたポンプ場です。堤内地の水位よりも堤外の水位が高い場合、堤内地の内水氾濫を軽減するためにポンプによる強制的内水排除が必要になります。

排水機場のしくみ



排水機場は、機械による強制排水で内水氾濫を軽減することを目的として設置されています